8. .ホームページ掲載用データ

本章では、作成したホームページデータについてについて取りまとめた。

8.1. 開発環境および動作環境について

表 8.1-1　作成ホームページデータ作成環境

#	ホームページ構成要素	作成環境
1	HTML（.html）	・Macromedia Dreamweaver 8
2	ホームページ内画像（.jpg、.gif）	・インフォマティクス SIS Map Modeller 6.2
		・Adobe Photoshop Elements 5.0
		※Microsoft オートシェイプも一部利用
3	ホームページ内動画（.wmv）	・Microsoft Windows ムービーメーカー

表 8.1-2　動作環境

#	分類	対応OS、ソフト等
1	OS	・Windows XP SP3
		・Windows VISTA SP2
2	ブラウザ	・Internet Explorer
3	動画再生	・Microsoft Windows Media Player

8.2. ホームページの全体構成

本ホームページの全体構成を以下に示す。

表 8.2-1　ホームページの全体構成

#	分類	対応ＯＳ、ソフト等
1	トップページ	本ホームページの初期画面で、各コンテンツへのリンクを保持している。
2	使い方	本ホームページの使い方を示したページである。
3	災害学習	災害について学習できる他サイトへのリンク集である。
4	よくある質問	津波に関してよくある質問と回答を示したページである。
5	津波被害想定結果	地図からの導入を基本とした、振興局別の津波被害想定結果を示したページである。

次頁に、本ホームページの全体構成イメージを示す。

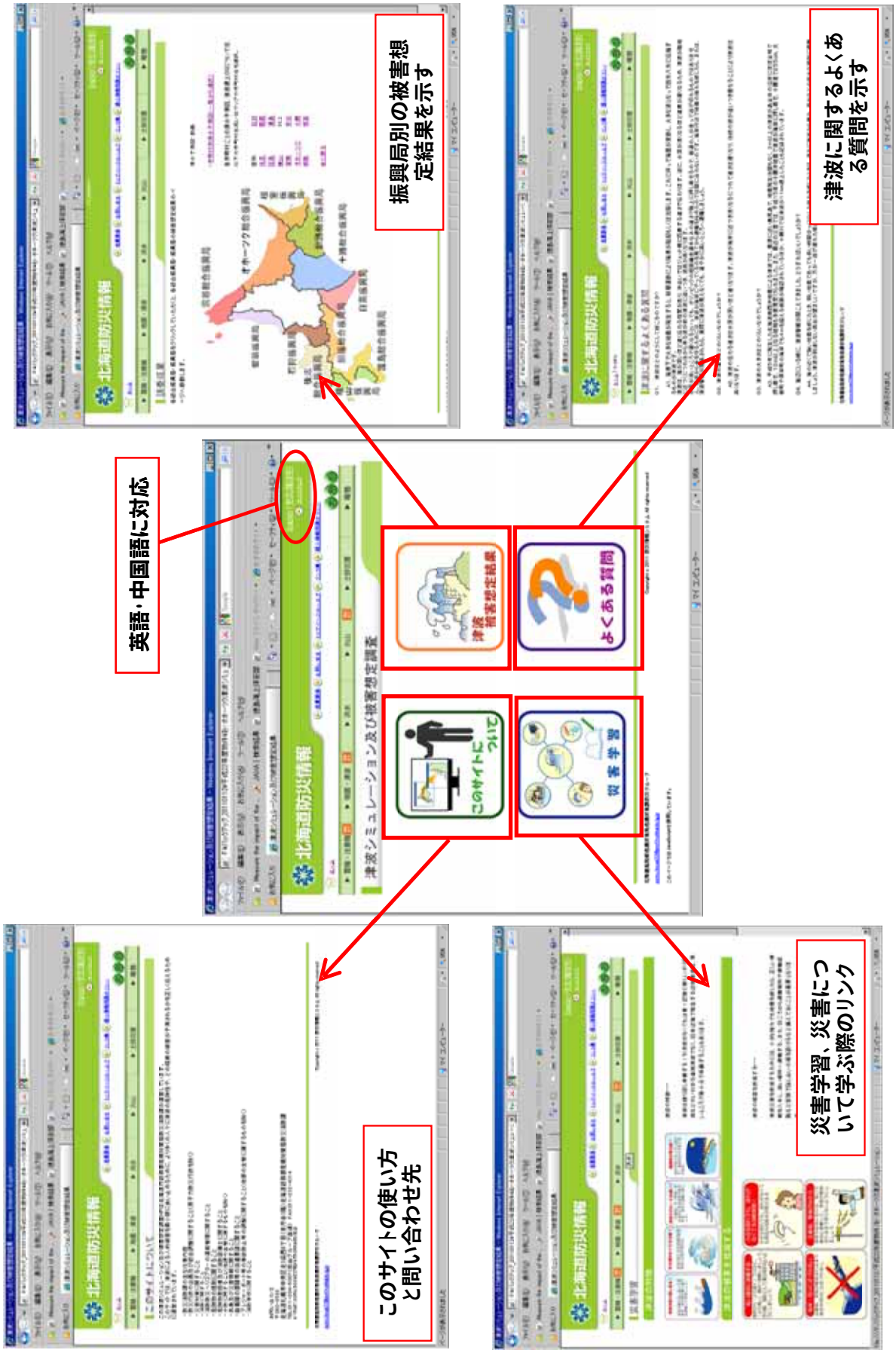


図 8.2-1　津波シミュレーションおよび被害想定調査ホームページ全体イメージ

以下に、本ホームページのファイルに関する全体構成を示す。

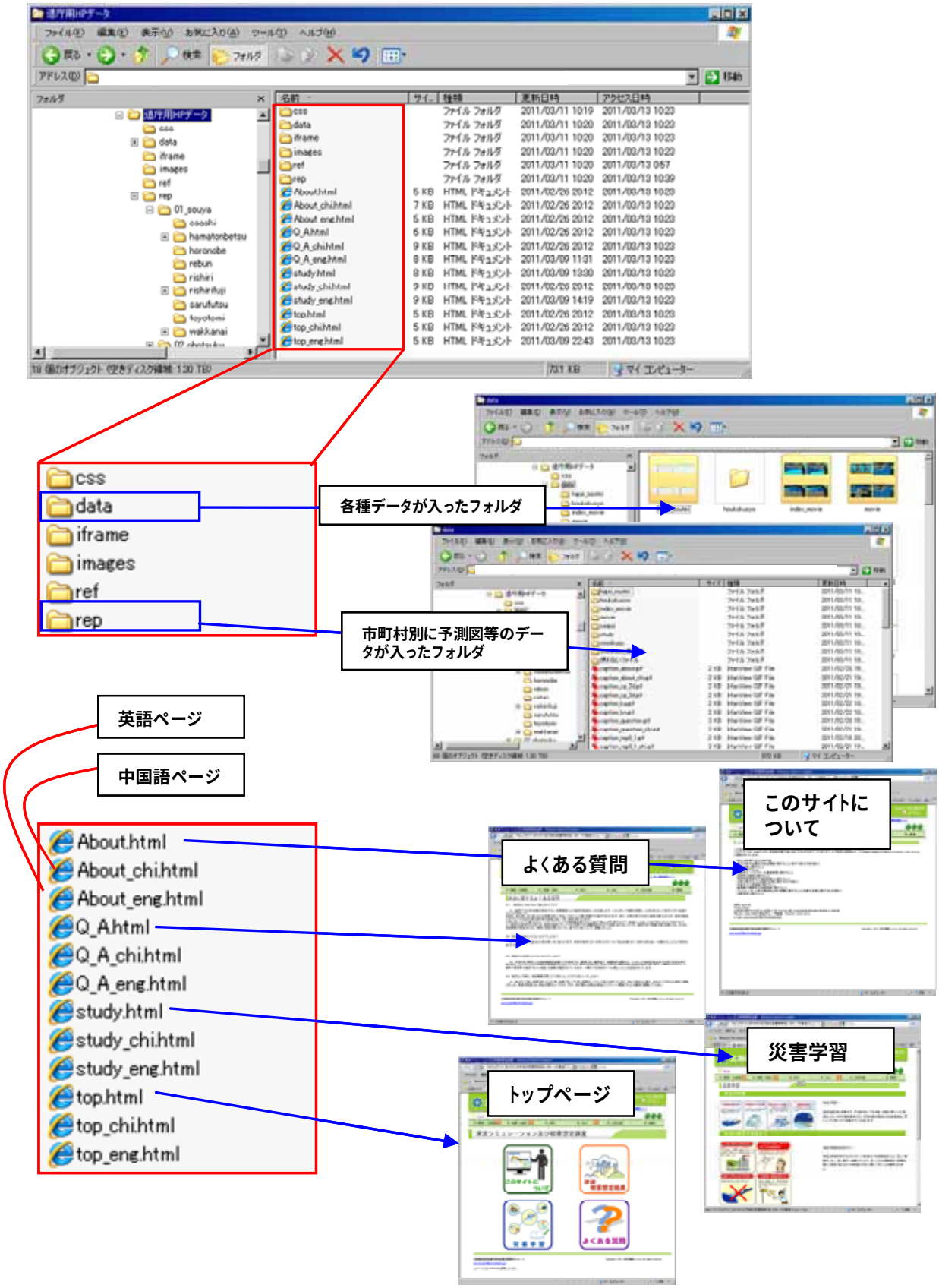


図 8.2-2　ファイル構成

8.2.1. 「このサイトについて」ページの詳細

このページでは、津波シミュレーションおよび被害想定調査(オホーツク海沿岸)ホームページの使用方法を記述している。記述内容を以下に、列挙する。

- ■ ホームページ運営主体（北海道庁総務部危機対策局危機対策課）
- ■ 運営主体（北海道庁総務部危機対策局危機対策課）の業務内容
- ■ 問い合わせ先

当ページの詳細イメージとソースファイルを以下に示す。

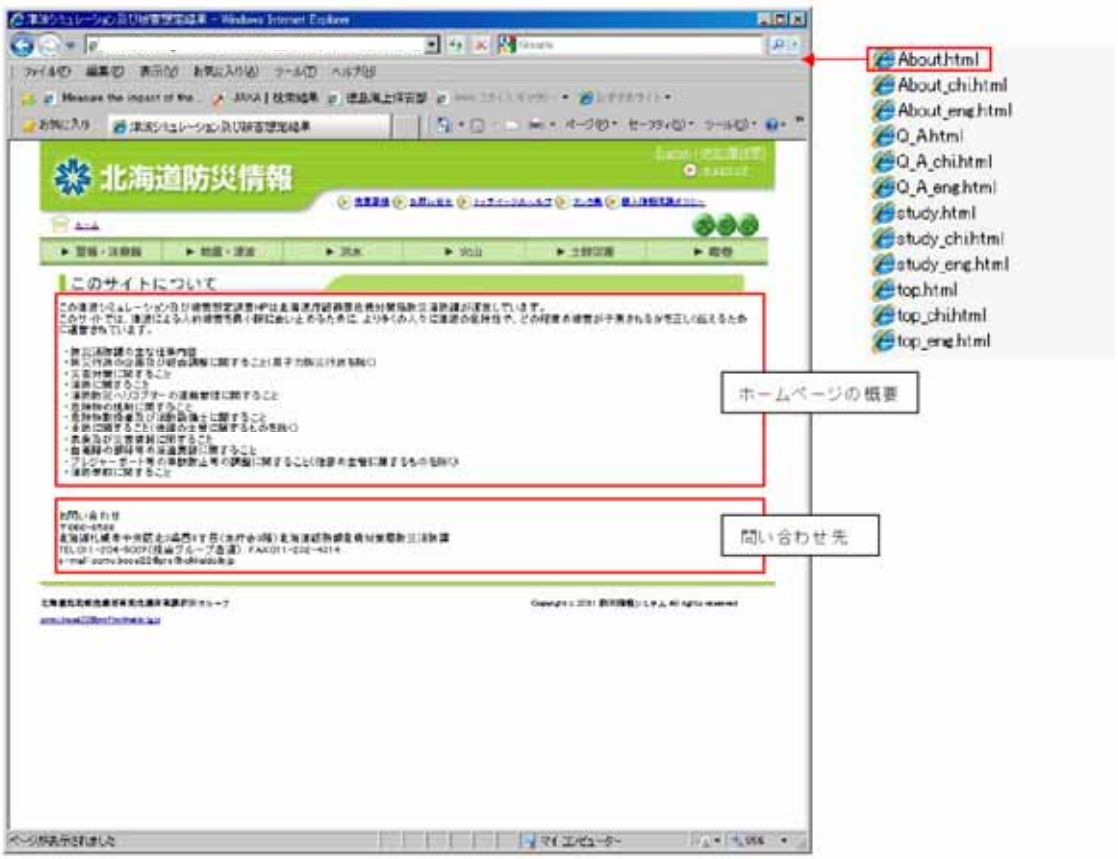


図 8.2-3　「このサイトについて」の詳細イメージとソースファイル

8.2.2. 災害学習ページの詳細

このページでは、津波をはじめとする災害に対する知識提供を目的として、他サイトへのリンクを示している。記述内容およびリンク先例を以下に示す。

■ 災害に関する情報提供ホームページへのリンク

- ✧ 気象庁：http://www.jma.go.jp/jma/index.html
- ✧ 宮城県津波浸水予想図：http://www.pref.miyagi.jp/kikitaisaku/jishin_chishiki/tunami/yosokuzutop.htm
- ✧ 東北大学大学院工学研究科 災害制御研究センター 津波工学研究室：http://www.tsunami.civil.tohoku.ac.jp/hokusai3/
- ✧ 国土交通省ハザードマップポータルサイト：http://www1.gsi.go.jp/geowww/disapotal/

当ページの詳細イメージとソースファイルを以下に示す。

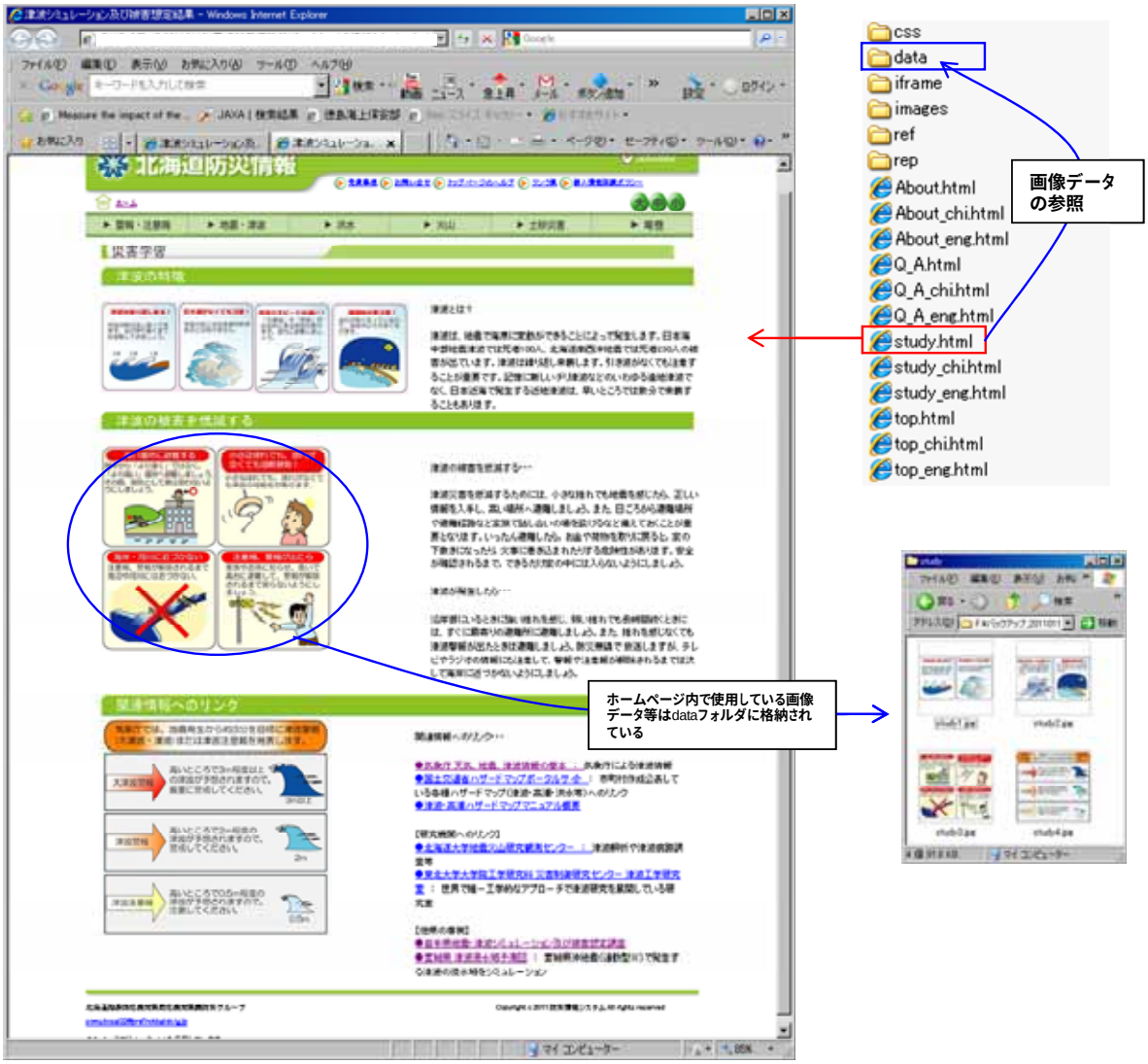


図 8.2-4 災害学習ページの詳細イメージとソースファイル

8.2.3. よくある質問ページの詳細

このページでは、津波に関しての想定質問と回答を示している。記述内容を以下に、列挙する。

■ 津波の発生、性質等に関する質問（疑問）と回答

当ページの詳細イメージとソースファイルを以下に示す。



図 8.2-5　よくある質問ページの詳細イメージとソースファイル

8.2.4. 津波被害想定ページの詳細

このページでは、津波シミュレーションおよび被害想定調査を振興局別に記述している。また、報告書の PDF を閲覧することができる。記述内容を以下に、列挙する。

- ■ 振興局別津波被害想定結果のページへのリンク（後述）
- ■ 報告書 PDF

当ページでは、振興局別ページへのリンクを振興局名もしくは、地図から行うことが出来る。

当ページの詳細イメージとソースファイルを以下に示す。

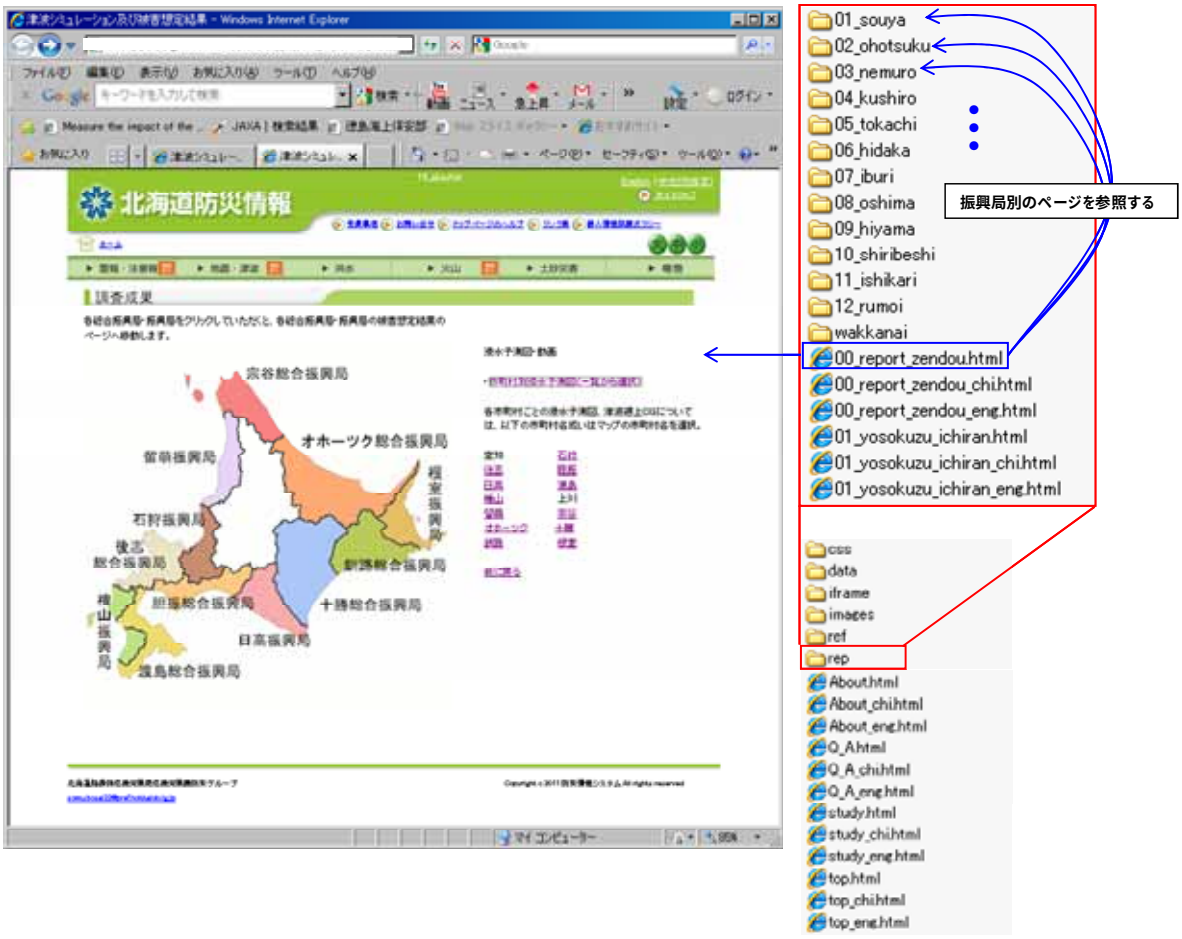


図 8.2-6　津波被害想定ページの詳細イメージとソースファイル

このページでは、津波シミュレーションおよび被害想定調査を振興局別に記述している。また、報告書の PDF を閲覧することができる。記述内容を以下に、列挙する。

■ 各津波浸水予測図 pdf ファイルへのリンク

当ページでは、市町村別の各浸水予測図（全体図、振興局別図、市町村図、詳細地区別図、詳細地区別図（イメージ図）、ケース別図の pdf ファイルへのリンクを市町村名から行なうことができる。

当ページの詳細イメージとソースファイルを以下に示す。

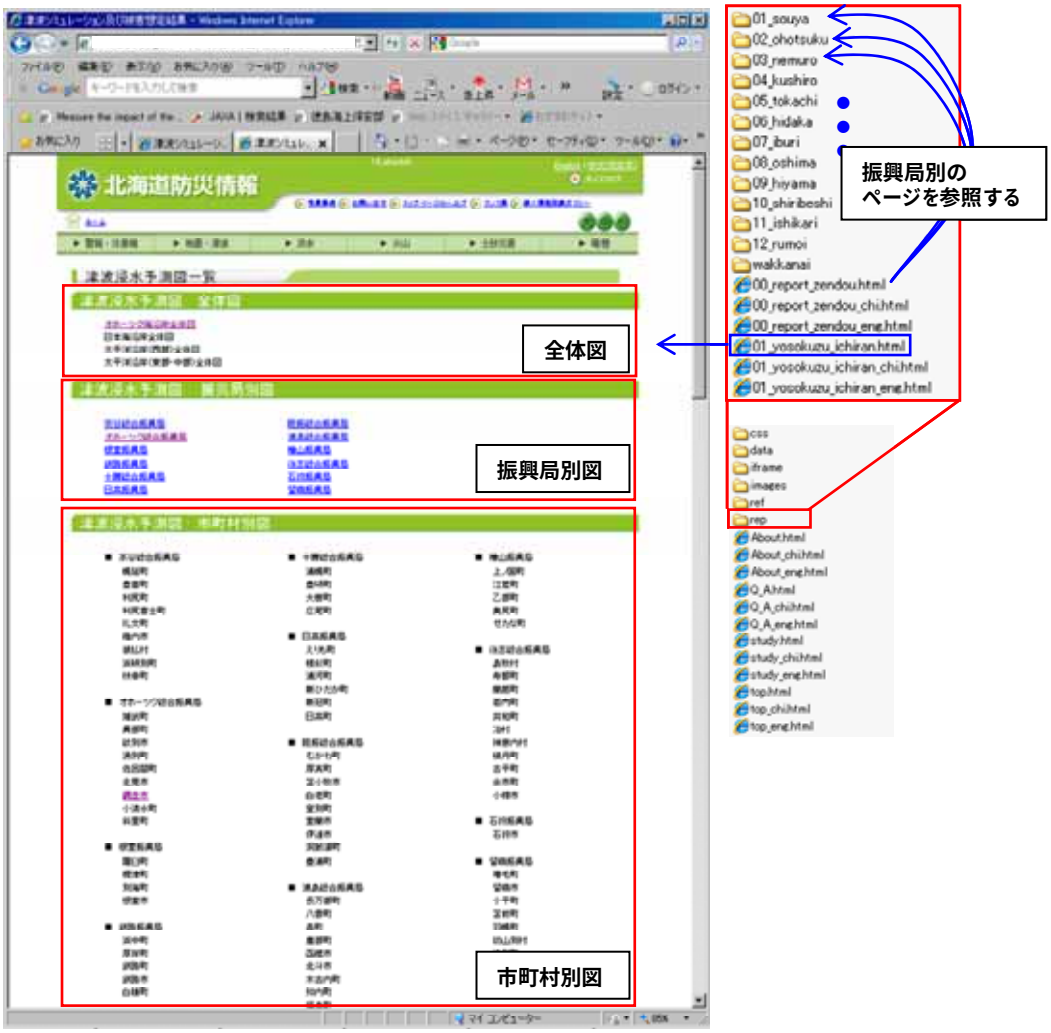


図 8.2-7　津波被害想定ページの詳細イメージとソースファイル

振興局別ページでは、さらに市町村別の津波被害想定結果ページの導入を行う。なお、画面右側には市町村名、左側には当該振興局内の地図が表示される。

市町村別のページでは、画面左側にメニューにより、当該市町村の被害想定結果の画像、動画を閲覧することができる。

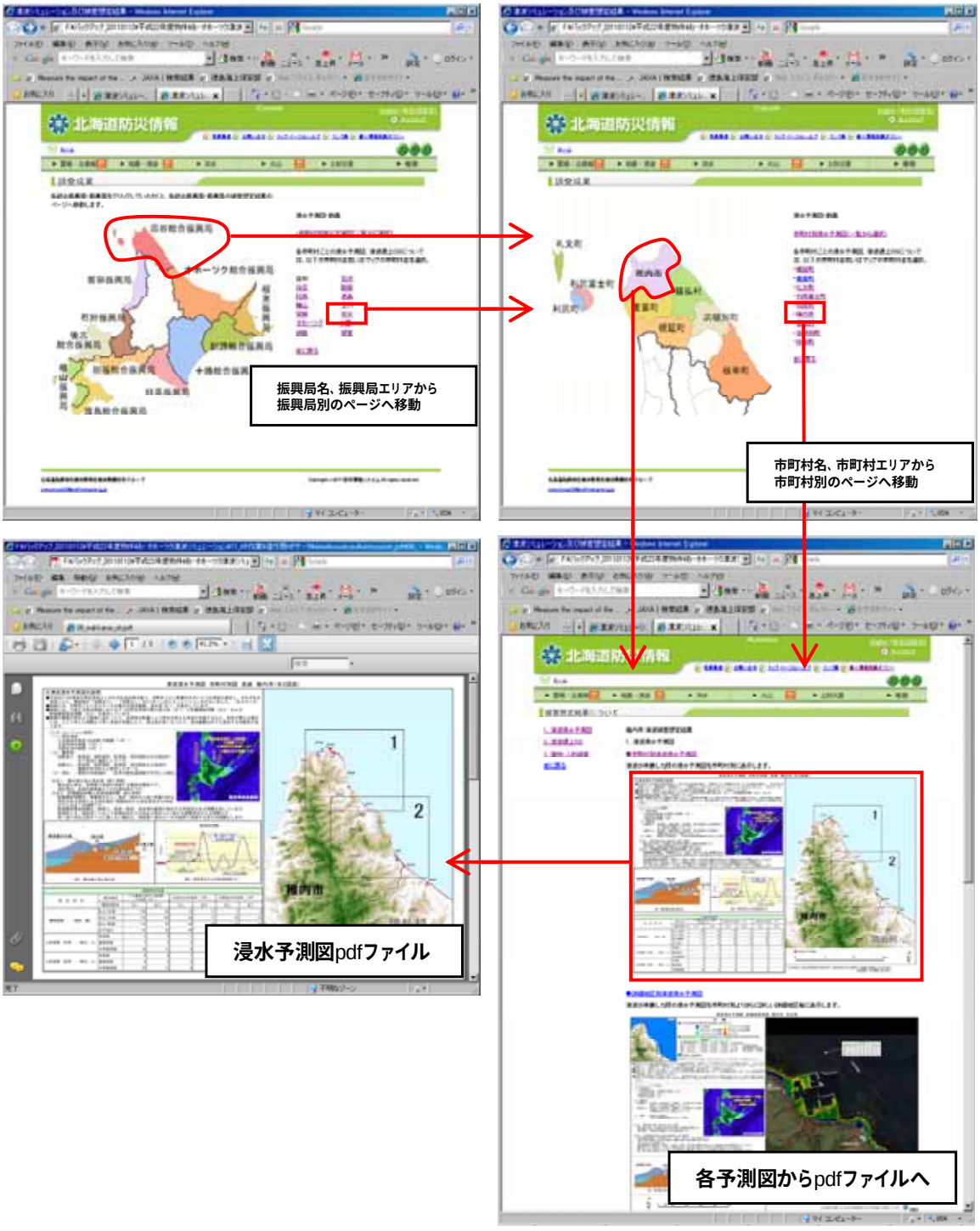


図 8.2-8　振興局別津波被害想定ページの詳細イメージ

以下に、津波被害想定メニューから津波遡上 CG 動画再生のイメージを示す。

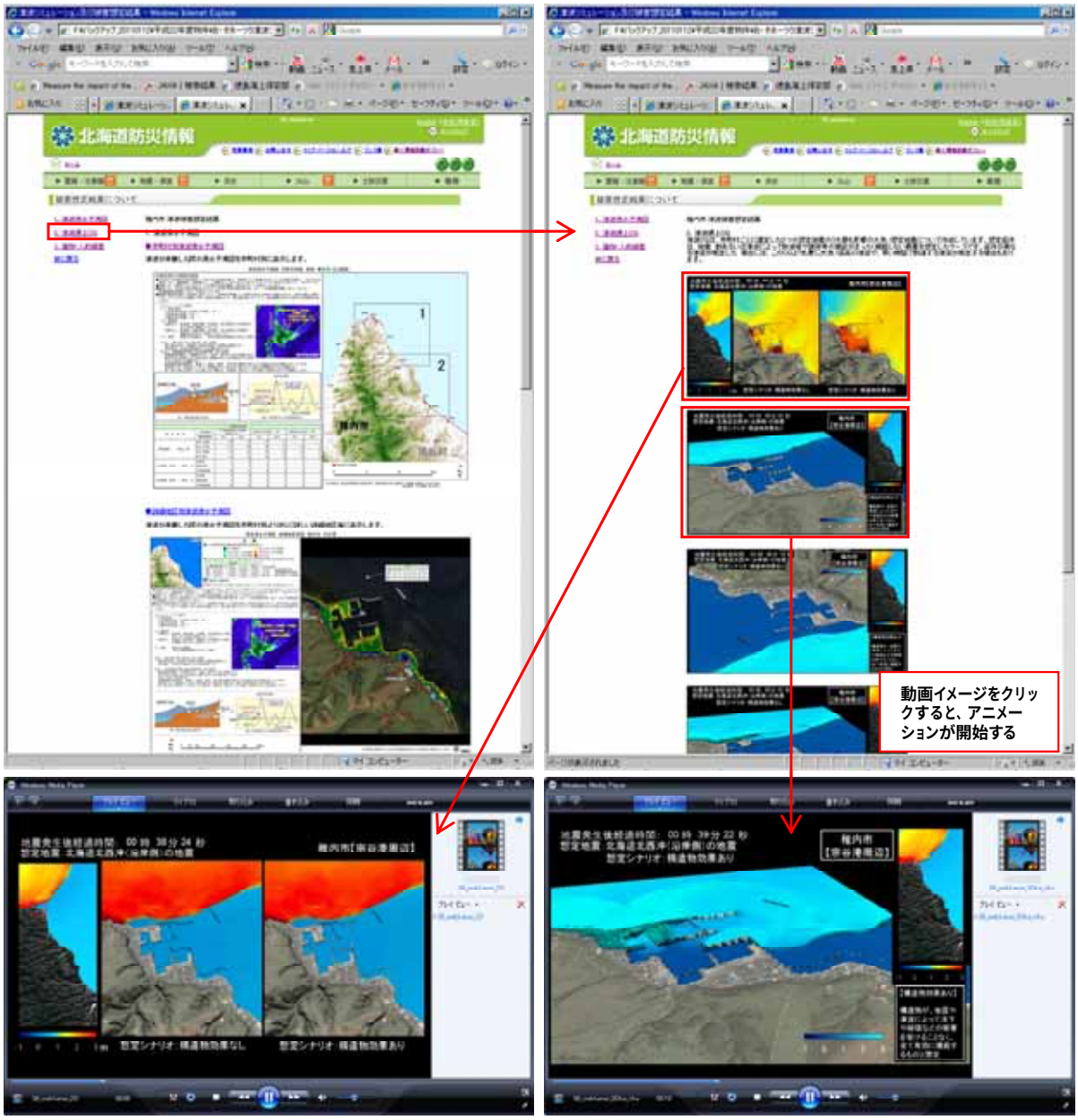


図 8.2-9　津波遡上 CG 動画再生イメージ

以下に、津波被害想定メニューから建物・人的被害想定ページへの画面遷移イメージを示す。

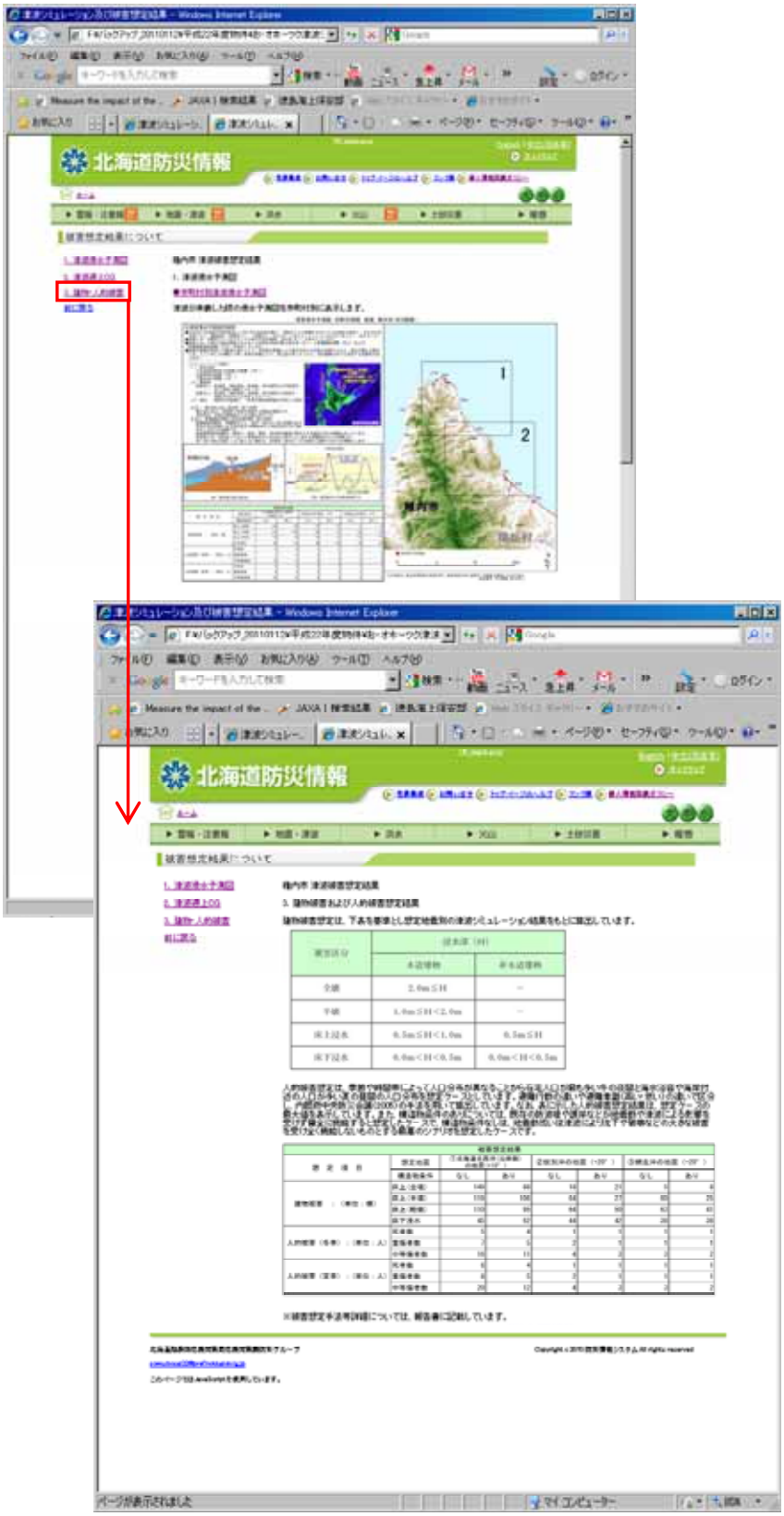


図 8.2-10　建物・人的被害想定およびライフライン・交通支障想定ページへの画面遷移イメージ

9. 用語集

【津波（つなみ）】

津波の「津」とは、船着場や渡し場を示す港を意味し、津（港）に押し寄せる異常に大きな波を津波という。津波は、海底で発生する地震に伴う海底地盤の隆起・沈降や海底地滑りなどにより、その周辺の海水が上下に変動することによって引き起こされる。日本の海岸線に近い海域で発生する津波を「近地津波」、チリ津波など遠く離れた海域で発生した地震により影響をおよぼす津波を「遠地津波」という。

【東京湾平均海面（とうきょうわんへいきんかいめん）(T.P.)】

東京湾平均海面(T.P)とは、全国の標高の基準となる海水面からの高さを表す場合の基準。陸地の標高（海抜高度）の基準面。T.P(TokyoPeil)は、海面からの高さを表す基準面の記号である。

【朔望平均満潮位（さくぼうへいきんまんちょうい）(H.W.L.)】

朔(新月)および望(満月)の日から5日以内に現れる、各月の最高満潮面を平均した潮位

【津波高（つなみだか）】

津波高とは、朔望平均満潮位(H.W.L)から海面までの高さ

【津波水位（つなみすいい）】

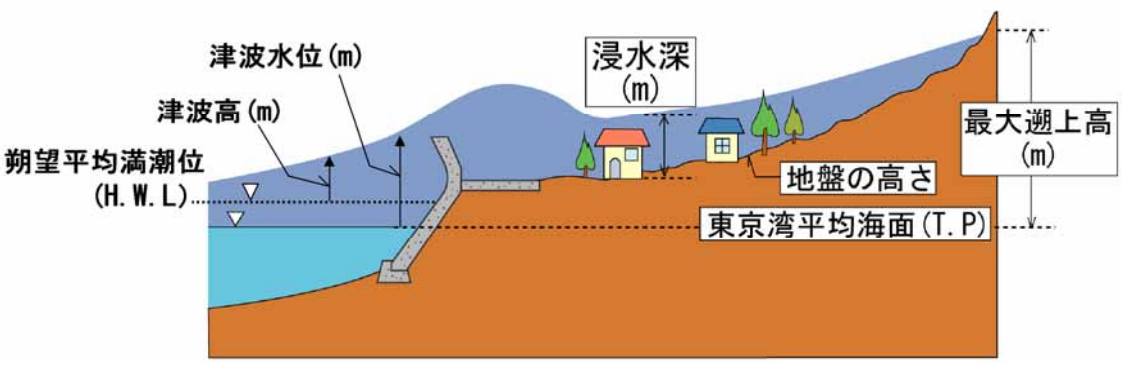
津波水位とは、東京湾平均海面(T.P)から海面までの高さ

【浸水深（しんすいしん）】

浸水深とは、津波が陸上に遡上浸水する陸域での地面から水面までの高さをいう。

【最大遡上高（さいだいそじょうだか）】

各地区で津波が到達する最高の標高



10.参考文献

- Aida, I（1978）Reliability of a tsunami source model derived from fault parameters, J. Phys. Earth, 26, 57-73.
- 阿部邦昭（1987）小地震の波原モデルと津波の性質－日本海中部地震の最大余震（1983 年６月 21 日）に伴う津波，地震第２輯，40，349-363.
- 気象庁（1985）気象庁技術報告　第 106 号.
- 小谷美佐・今村文彦・首藤伸夫（1998）海岸工学論文集，第 45 巻，土木学会，356-360.
- Satake, K. (1989) Inversion of tsunami waveforms for the estimation of heterogeneous fault motion of large submarine earthquakes: the 1968 Tokachi-oki and 1983 Japan Sea Earthquakes, J. Geophys. Res., 94, B5, 5627-5636.
- 佐藤良輔編著（1984）日本の地震断層パラメター・ハンドブック，鹿島出版会，390pp.
- 中央防災会議「日本海溝･千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」第 5 回資料(2004).
- 中央防災会議「日本海溝･千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」第７回資料(2005).
- 中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会報告」(2006).
- 東北大学工学部（1984）東北大学工学部津波防災実験所研究報告第１号，昭和 58 年５月 26 日日本海中部地震津波に関する論文及び調査報告.
- 土木学会（1985）1983 年日本海中部地震　震害調査報告書.
- Mansinha, L. and D. E. Smylie（1971）The displacement fields of inclined faults, Bull. Seism. Soc. Am., 61, 1433-1440.
- 中千島沖巨大地震による津波の北海道オホーツク海沿岸での挙動、伊尾木・谷岡、
- 北海道大学大学院理学研究院付属地震火山研究観測センター、地震、第 61 巻(2009)、145-148 頁
- 山中 佳子(2006):EIC 地震学ノート No.183. 東京大学地震研究所ホームページ
- Fujii, Y. and K. Satake (2008), Tsunami Source of the November 2006 and January 2007 Great Kurile Earthquakes, Bull. Seism. Soc. Am., 98(3), 1559-1571.
- 武村雅之（1998）：日本列島における地殻内地震のスケーリング則―地震断層の影響および地震被害との関連―地震第２輯,第 51 巻,pp211-228
- Kanamori,H.之（1997）：The energy release in great earthquakes,journal of Geophysical Research,Vol82,No20,p2981-2987
- Tsunami Assessment Method for Nucliear Power Plants in Japan(2002)
- 国土交通省河川局河川計画課：治水経済調査マニュアル（案）各種資産評価単価及びデフレーター（平成２２年２月改正）
- 災害に強い漁業地域づくりガイドライン（平成 18 年 3 月）水産庁漁港漁場整備部